

授業概要

7月24日(金)

2時限 10:40 ~ 12:10

科目名	担当教員	概 要
観光ビジネス	大島慎子	観光が産業として成立するために観光資源、観光産業、地域住民、情報発信の関連を理解し、授業においては、ローカルな問題意識、グローバルな視野を養いテーマ発表では問題発見能力と情報スキルを駆使したプレゼンテーションを行う。観光の知識のほかに、[ローカル・グローバルセンス][問題発見力][情報スキル]を習得することを目標としている。観光関連産業の概要と、人間の観光行動を誘発するための様々なプロモーション活動を知ること、観光産業の基本である、交通手段(航空、鉄道)、宿泊手段(ホテル、旅館)観光パッケージをつくる旅行業等の基本と、各国の観光政策の概要を理解する。各授業毎に資料を配布し、パワーポイントで授業が行われる。観光関連の仕事に必要な時差の計算、パッケージ旅行の料金計算などの初級数学も習得。
視覚伝達デザイン	高嶋 啓	ビジュアル・コミュニケーション・デザインの応用を身につける。つまり、視覚を通して伝達するグラフィックデザインの表現を対象とする。企画、制作の段階から、人に伝えるまでのプロセスを実践的に学ぶ。また、チームとしての課題制作を通して、デザインという感覚的な物を、他者に伝達するのに必要な論理的な思考を身につけることができる。キーワード：CGクリエイター検定、グラフィックデザイン、タイポグラフィ、色彩、CI計画、ブランディング、DTP

3時限 13:00 ~ 14:30

科目名	担当教員	概 要
国際社会・社会支援	渡辺一雄	国際協力・社会参加の意義、内容について学術的な基本理解がなされ、身近な生活の場(地域)から問題解決に向けて行動する実践的な力、態度が養われることを目標に、更なる学習の深化を視野にどうすればよいかについて受講生が自ら考察するモチベーションが付与され、そのための基礎的・実践的な学習の手法を修得する。講師自身の海外経験(アフガニスタン復興支援JICA専門家、2005年)及び東日本大震災復興ボランティア活動(発災後)を基礎に本講義のテーマを学術的・実践的観点から受講生と共に考察しようとするもの。講義を中心に展開するが、受講生の事前学習と発表、外部講師による特別講義の重点テーマへのコメント、受講生同士の対抗ディベートのほか、英文記事の大訳を授業冒頭に取り入れたウォーミングアップなどの工夫も行う。講義は日本のODA(開発援助)関連、日本国内における外国人労働者・子弟の教育、日本語理解等のテーマから国際理解・共生の環境について学習を進めていく。

4時限 14:40 ~ 16:10

科目名	担当教員	概 要
交通産業	大島慎子	航空産業、鉄道業、バス・タクシー等の運輸全般の概要を学ぶ。到達目標は知識だけでなく、運輸業界をとりまく環境を理解し、「問題発見能力」「発表能力」を磨く。課題に関しては、1時間程度の予習、復習を期待する。規制緩和がすすむ現代の交通産業を理解する基礎として、航空史、鉄道史、自動車産業発達史を学び、規制緩和と自由競争時代の交通の役割を学ぶ。観光に寄与する移動手段としての運輸業を視点とし、経営戦略上、観光振興とどのようななかかわりがあるかを事例で学ぶ。